

## 踏み跡 < My mountains >

奥多摩	氷川から鋸山經由北秋川へ	No. 133
-----	--------------	---------

朝ゆっくり出発して奥多摩の秋を歩こうという企画で、阿部・八十岡の両名が同行。彼岸の休日で夜行列車で遠方へ行くのは混雑すると考えて、「近場でゆっくり」のテーマにした。立川発 8 時 15 分の直通電車で、氷川着 9 時 35 分。多摩川に沿って歩き、大沢入より大沢林道に入る。この道は大沢思源荘という国民宿舎があることから、かなり古くから数多くの人が歩いている道である。大ダワを経て御前山と鋸山への近道になっている。奥多摩を歩き始めてから 8 年になるが、まだこの道は歩いたことがなかった。奥多摩特有の湿った暗い谷、しかし今では車も通れるような林道となっている。6~7 年前まではまだススキに覆われて肩をなでられながら歩く道だったと聞いたことがある。新道は山の腹を巻いて遠回りのため、旧道を歩く。小さな堰堤で昼食と一時間の休み。大ダワ着は 13 時 03 分。1000m 程度の山とはいえ秋ともなると風は涼しく、汗でぬれた背中がブルツとなる。見通しのきく鋸尾根の頂に上がり、再び食事と休憩。本仁田山と川乗山を正面に見て、下には多摩側の蛇行。下りは大ダワに戻り、南に下り赤井沢に入る。一時間余で林道に出て、あとはのんびりブラブラ歩き。神戸岩という溪流に沿った奇岩の群れがある。もう少し早く下ってくれば、ここでゆっくり休憩できたのに残念。曇り空の日没が迫ってきており、休んではられない。大沢のバス停に着いたのが 18 時 10 分。9 月下旬の 18 時過ぎはもう暗く寒い。北秋川の山あいを縫って走るバスの車窓はもう真っ黒い幕を下ろしたように暗かった。

以上

